

筑前剣道部だより

-思無邪- NO. 30

2024年6月号



高山教育実習5月20日～6月7日＋玉竜旗応援メッセージ

【剣道部OBより玉竜旗激励メッセージ】

剣道部第39期生 高山 幹斗

周船寺小学校 ↓ 元岡中学校 ↓ 筑前高校
↓ 現 鹿屋体育大学 体育学部 武道課程

教育実習生として三週間という短い間でしたが筑前剣道部を指導しました。現在、鹿屋体育大学の剣道部に所属しております。玉竜旗に向け私の過去の剣道歴を紹介しつつ、大学生ながら述べさせていたただきたいと思えます。

私には、6歳上の兄がおり、先に剣道をしていたため、物心ついた頃には竹刀を握り剣道を始めました。小学生の頃は剣道が嫌いで、稽古に行きたくないがあまり、泣きながら両親に嘆いていたのを今でも覚えてます。こんな剣道嫌いの私が、剣道を好きになるきっかけがありました。小学校高学年の時に地域大会の団体戦で優勝したことです。試合で勝つことの喜びやチームで団結して一心不乱に突き進む楽しさを知りました。そこから現在の大学まで剣道が続ける剣道人生が始まったように思います。

中学生になると部員数も多くみんなで切磋琢磨し、県大会で3位、少年玉竜旗でベスト8という結果を残しました。チーム内の雰囲気がとても良く、「みんなで繋いで勝負」といった試合ができていたため、結果を残すことができたと思います。高校進学の際、私の野望として「公立高校からインターハイに出る!」というものが、筑前高校進学を決めました。私が高校一年生の時は剣道経験の無い顧問の先生であったため、自分たちで練習メニューを考え日々稽古に励みました。私は幸運なことに一年生からレギュラーに入ることができました。初めての公式戦であるインターハイ中部予選。次鋒で出場し、小手を取り勝利しました。チームは負けたものの自分の中では「戦える」といった感情が芽生えました。普段の稽古だけでは足りないと感じ、学校生活での昼休み、練習後にひとり稽古など、空いている時間を全て剣道に費やしました。そして迎えた玉竜旗。3年生にとっては引退試合のため、一日でも多く先輩方と試合がしたいと思い、全力で臨みました。1・2・3回戦と調子良く勝ち進むことができ、2日目の夕方6時ごろ、宮崎県の日章学園と4回戦で当たりました。先鋒が

抜かれ次鋒である私が何としても抜き返そうと尽力しましたが一本一本の引き分け。チームも副将までしか抜けず、惜しくも敗退しました。強豪相手に善戦はできたが、あと一步。よくある公立高校の負けパターンです。私はどのようにすればこの「あと一步」を超えることができるか悩んでいました。そんな時に転機が舞い降ります。顧問として白水清先生が就任されたことです。剣道に対する取り組み方、考え方など今まで私が知らなかったことを多く教えてもらいました。そんな中、新体制の下迎えた二度目の玉竜旗。二日目に残ることができたものの、最終日に試合をすることができませんでした。この時もあと一步のところで負けてしまいました。三年生となった自分たちの代では絶対に最終日に残り、結果を残す、この目標の下、日々稽古に励みました。しかし、新型コロナウイルスの影響により玉竜旗だけでなくインターハイも無くなりました。私は野望を叶えることができず高校剣道の幕を閉じました。技術力、精神力ともに鍛われ、チームもまとまり出した、そんな時でした。私はこれらの経験を通して三つのことを学びました。「当たり前と思っていたことは決して当たり前ではない」、「一人で戦うのではなくみんなで戦うことが大切である」、「あと一步を超えるには果てしない努力が必要である」ということです。先月、中部予選があり男子は初戦敗退、女子は二回戦敗退と悔しい結果になったと思います。しかし、三年生にはまだ玉竜旗が残されています。残り僅かな時間だと思えますが周りの支えてくださる人達に常に感謝の気持ちを持ち、玉竜旗という大舞台で試合ができる喜びを感じながら、思い残すことなく全力で試合をしてもらいたいです。「あと一步」を超えられるようにチーム一丸となり殻を破ってください!

私は現在、強豪と言われる鹿屋体育大学で、世代トップが勢揃いしている中で、質の高い稽古に日々励んでいます。そんな中で私が感じた決定的な相違点は、一本一本の打ちに対して「物凄いいこだわり」を持っているということ。打ちの音、振りの大きさ、体の動かし方、間合いの入り方、発声など小さなことから全てにおいて意識しているのが身に染みて感じます。これは、彼らの果てしない努力の賜物であると思います。皆さんも普段の稽古の中で自分なりに考えてやっているといます。

しかし、まだ足りていない部分が多くあります。玉竜旗まであと残り僅かしかありません。一日一日の稽古に「こだわり」を持ち、これ以上やることないと思えるくらい稽古に励んでください。そして悔いのない試合ができるように頑張ってください。自分を信じ、仲間を信じ、みんなで戦ってください。良いご報告を聞けることを期待しています。筑前高校剣道部の健闘を祈ります。



同じ道場で鍛えた先輩後輩

CHIKUZEN NEWS

個人錬成大会 早良

6月9日(日)

早良高校にて、今年度初の個人戦の錬成大会が開催された。男子は120人、女子は80人の選手が参加した。男子は13人中12人が予選リーグを勝ち上がり、谷口と末松が決勝に進出。初の筑前同士決勝となった。結果は谷口が優勝！末松が準優勝と見事な結果を残した。また、前原が第5位に入賞し、2年生の成長を見せてくれた。女子は10人中、5人が予選リーグを勝ち上がり、中村が意地を見せ5位入賞と結果を残した。男子も女子も全体的に力をつけている。玉竜旗に向けて更なる力をつけて、必ず最終日まで残り、ベスト32以上の結果を残したい。



決勝のアナウンス 水崎



おめでとう!!!
次は玉竜旗!



優勝 谷口 5位
準優勝 末松
前原・中村